

秦野高校 先生の数え歌 (作者不詳 昭和 30 年ごろの在校生か?)

(一) ~ (九) の先生は、昭和 34 年頃に在籍。(十) の杉山先生は転出で居られなかった。

(一) ひとつとせ

ひとりもんなら 岸先生  
ハンサムボーイの ちゃつきちやき そいつあ豪気だネ そいつあ豪気だネ～

(二) ふたつとせ

ふんぞり返った 藤井さん  
軍曹閣下の お出ましさ そいつあ豪気だネ そいつあ豪気だネ～

(三) みつとせ

見れば見るほど 愛らしい  
小野の小町の 典子さん そいつあ豪気だネ そいつあ豪気だネ～

(四) よつとせ

よせばいいのに もう一杯  
桐生先生の はしご酒 そいつあ豪気だネ そいつあ豪気だネ～

(五) いつとせ

いつも大法螺 吹く顔は  
長い顔です 池田さん そいつあ豪気だネ そいつあ豪気だネ～

(六) むつとせ

無欠無遅刻 いいけれど  
ボンズが抜けるぜ オヤジさん そいつあ豪気だネ そいつあ豪気だネ～

(七) ななつとせ

なかなか辞めない 古狸  
皺が増えたぜ 芋先生 そいつあ豪気だネ そいつあ豪気だネ～

(八) やつとせ

八つ裂きされても 二十貫  
白井先生の 太っ腹 そいつあ豪気だネ そいつあ豪気だネ～

(九) ここのつとせ

此処は南の 今泉  
テレビ観ながら 貴田先生 そいつあ豪気だネ そいつあ豪気だネ～

(十) とおとせ

飛んで帰らぬ 大明神  
長風先生の 懐かしさ そいつあ豪気だネ そいつあ豪気だネ～